

システムの機能について

図書館システムは、インターネットでの図書館の利用者向け情報提供システムとする。

なお、システムには以下の機能又はそれに従事した機能を有するものとする。

- (1) 館内 OPAC
- (2) WebOPAC
- (3) メール連携
- (4) 静岡県立図書館横断検索(おうだんくん)対応
- (5) Amazon 等との連携
- (6) 島田市立図書館ホームページとの連携
- (7) セキュリティ対策

また、以下の6項目それぞれを使用するか否かを、施設の運用に合わせることを可能とする。

1 館内 OPAC

- (1) 利用者が直接端末を操作し、資料の所蔵状況等を検索でき、検索結果について資料状態(貸出可能・不可等)の表示ができること。
- (2) 検索資料の書籍画面が表示することが可能であれば、資料情報と合わせて表示すること。
- (3) タッチスクリーンの採用により、画面に触れるだけで入力できること。
- (4) 一定時間、無操作の状態であれば、その初期表示状態に自動的に戻ること。
- (5) 児童、一般、高齢者等を問わず、利用者による簡易な操作が行えるようガイドメッセージ等による画面上の指示が行われ、子供向け表示にも対応できること。
- (6) 書名・著者名・出版者・件名等による検索ができること。
- (7) 内容細目データについても書名・著者名等のキーにより検索されること。その際には業務検索と同様にクロスヒットしないこと。
- (8) 資料の種類(図書、雑誌、AV 資料等)を選んでの検索ができること。複合検索もできること。
- (9) 検索処理は、漢字・カナ・英数字で行え、また、全角半角の区別なく行えること。
- (10) 濁音・半濁音・拗音・促音・長音などについて、特に意識することなく検索できること。
- (11) 読みの検索において、ハとワ、パとヴァ、ジとヂなど特に意識することなく検索できること。
- (12) データの種類や状態を図書館側が指定して、表示対象から外すことができること。(例えば、所蔵の無いデータや状態が利用可能以外は表示しない等の設定ができる。)
- (13) 詳細画面では館別の所蔵状況が確認できること。
- (14) 詳細画面では所蔵、内容状態を確認できること。
- (15) レシートプリンタにより検索結果情報が印刷できること。
- (16) 資料の配架場所を表示することができること。その際、資料の配架場所が特定されること。
- (17) 新着資料として一覧を一般・児童・AV 資料等に、また、各資料(一般、児童、AV 資料等)で分類毎に任意に表示の分けができること。
- (18) 新着資料の作成は、指定した条件により自動で作成されること。
- (19) お知らせの作成は図書館で簡易な操作で作成、修正ができること。
- (20) 推薦図書など任意の資料群を任意に登録することができ、それを利用者に表示できること。

- (21) 利用者が簡易な操作で予約できること。また資料によって予約の抑止(貸出中のみ予約可能、DVDは予約対象外など)ができること。
- (22) 予約時には、受取館・連絡方法を設定することができること。
- (23) 予約の更新タイミングは設定で変更できること。(即時/後更新が選択できること)
- (24) 予約冊数の制限は、業務の規則と合わせた運用ができること。
- (25) 利用者パスワードの設定、変更ができること。
- (26) 利用者は貸出状況、予約状況の確認ができること。
- (27) 利用状況参照時に図書館からの通知コメントを表示できること。
- (28) 予約に対する情報をメールで送信できる機能があること。
- (29) ベストリーダーの一覧を一般・児童・AV資料等に表示できること。
- (30) ベストリクエストの一覧を一般・児童・AV資料等に表示できること。
- (31) 貸出状況から延長処理が行えること。
- (32) 配架場所表示においては操作中の端末の位置表示も可能なこと。

2 WebOPAC

- (1) 簡易検索機能(全文フルテキスト検索)があること。
- (2) 書誌の検索時には資料の種類(図書・雑誌・AV資料等)に関わらない横断的な検索ができること。
- (3) 書名・著者名・件名等を組み合わせた複合検索及び単項目検索を行い、検索結果及び該当件数を表示できること。
- (4) 書名については「第一書名」「第二書名」「副書名」等を併せて検索できること。
- (5) 著者名については「第一著者」「第二著者」「巻の第一著者」等を併せて検索できること。
- (6) 件名により検索できること。
- (7) 内容細目データについても書名・著者名等のキーにより検索されること。その際には業務検索と同様にクロスヒットしないこと。
- (8) 複合検索において、論理演算(AND・OR等)ができること。
- (9) 検索結果の一覧は、書名ヨミ・責任表示ヨミ・分類・出版年でソートができること。
- (10) 検索処理は、漢字・カナ英数字で行え、また、全角半角の区別なく行えること。
- (11) 濁音・半濁音・拗音・促音・長音などについて、特に意識することなく検索できること。
- (12) 読みの検索において、ハとワ、パとヴァ、ジとヂなど特に意識することなく検索できること。
- (13) データの種類や状態を図書館側が指定して、表示対象から外すことができること。(例えば、所蔵の無いデータや状態が利用可能以外は表示しない等の設定ができる)
- (14) 詳細画面では館別の所蔵状況を確認できること。
- (15) 詳細画面に該当書誌の予約数、所蔵数(表示結果の資料数)が表示できること。
- (16) 詳細画面では所蔵、内容状況を確認できること。
- (17) 新着資料として一覧を一般・児童・AV資料等に、また各資料(一般・児童・AV資料等)で分類毎に任意に表示の区分けができること。
- (18) 新着資料の作成は、指定した条件により自動で作成されること。
- (19) 推薦図書など任意の資料群を任意に登録することができ、それを利用者に表示できること。
- (20) 利用者が簡易な操作で予約できること。また、資料によって予約の抑止(貸出中のみ予約可能、DVDは予約対象外など)ができること。

- (21) 予約時には、受取館・連絡方法を設定することができること。
- (22) 予約冊数の制限は、業務の規則と合わせた運用ができること。
- (23) 確保前の予約については、利用者が自ら取消ができること。
- (24) 利用者パスワードの設定/変更ができること。
- (25) 利用者は貸出状況/予約状況の確認ができること。
- (26) 予約に対する情報をメールで送信できる機能があること。
- (27) ベストリーダーの一覧を一般・児童・AV資料等に表示できること。
- (28) ベストリクエストの一覧を一般・児童・AV資料等に表示できること。
- (29) Amazon 等との連携

3 メール連携

- (1) 利用者への連携方法としてメールが利用できること。
- (2) メール通知する種類として、予約確保後の利用可能通知や利用者への督促通知ができること。
- (3) メールの種類毎にヘッダー、フッターは任意に設定できること。

4 TOOLi (TRC) 対応

- (1) 「TOOLi 連携」を通して「TOOLi」サービスがシームレスに一度の処理で可能な機能を有すること。

5 静岡県立図書館横断検索(おうだんくん)対応

- (1) 静岡県立図書館が運用する横断検索システム(おうだんくん)に対応できること。
- (2) 必要に応じて静岡県立図書館からの問合せ等に対し図書館職員と協議し打合せに参加すること。

6 セキュリティ対策

- (1) インターネットのセキュリティ対策は、島田市セキュリティ・ポリシーを遵守する必要があることから、別途、島田市と協議すること。
- (2) 個々のサーバ及び端末に対してウィルス対策を行うこと。
- (3) ウィルス対策ソフトの検索エンジン及びウィルス定義ファイルは自動で更新されること。
- (4) メール送受信においてはウィルス対策を行うこと。
- (5) 個人情報の取扱いについては、適切な処置を行うこと。